

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 たねのね		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を持ち、お子さまのことを十分に理解し、一人一人の発達の段階に沿った丁寧な関わりを大切にしている点が強みだと考えています。	個別に今必要なことを検討し、場面に沿ったより良い関わりの方法を、療育の時間全てを通して常に提供し続けることを考えて取り組んでいます。	職員の配置や専門性の向上に取り組んでいきます。職員の専門性の向上のため、定期的に研修を行います。内部研修以外にも、外部研修に積極的に参加し、専門性の質の向上に努めていきます。
2	お子さまだけでなく、家族支援も含め、保護者の方々と情報の共有を行い困り感などについて提案、助言を行っている点です。	定期的な保護者会の開催の他、必要に応じて随時個別に面談を行ったり、関係機関と連携を図っています。 自事業所だけではなく、広く関係機関とつながりを持つことで、幅広い視野でお子様をとらえていけるよう努めています。	保護者会などでは、参加できる保護者の方々に偏りが出てしまうこともあります。 どのご家庭も、気軽に参加できるような新たな取り組みも必要だと感じています。また、ご兄弟の方々への支援に対して見達成なところも多いため、ご兄弟に対しての取り組みへの検討を行っていきます。
3	一人一人のお子さまが、今日の取り組みに対して期待感をもって楽しみに通所されていることが強みだと考えています。	内容に偏りが出ないように、また取組の経験が積み重なっていくよう年間を通して取り組んでいます。 月単位での達成度、数カ月単位での達成度、一年、数年と達成度を段階に沿って設定し、目標に向けて段階に沿った療育の内容を提案しています。	日々の療育の準備等で時間に追われますが、より充実した教材や教具の内容を常に検討し、予算の組み立て、時間の確保等計画を立て充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子とも達と関わる機会が少ないことです。	公園遊びなどで、地域のお友だち(保育園児や近所にお住いのお子さま、小学生等)と触れ合う機会はありますが、地域の方々に開かれた行事を企画して取り組むことに対して見達成な点があります。 不安感の強いお子さま、居場所を公にできないお子さまもいらっしゃる中、知らない不特定多数の方が訪問される行事等の企画について難しさを感じています。	地域の中でも、馴染みのある場所や人に対して、関わる機会を企画し、取り組んでいくのはどうかと考えています。 個人情報の保護に対して、徹底した管理のもと取り組んで行く方法を考える必要があります。
2	定期的にHPやSNS等で活動内容等を発信しているという点では、頻度の少なさや周知の足りなさがありました。	各御家庭に対しては、ご利用時の様子やお写真など個人情報に配慮しながら提供していましたが、SNSにアップすることが優先順位としては低くなっていました。	今後はSNSの担当者を複数決め、責任をもって定期的に情報を発信していきます。 その際、個人情報の保護に対して遵守し、利用者様が困惑したり、不愉快な思いにならないよう徹底した取り組みを行います。
3	自立支援協議会等への参加について	自立支援協議会の開催について、随時確認を行っていなかったことで、参加に至りませんでした。自立支援協議会の主催する勉強会ということに気づかず、こども部会の主催する重症心身障害児者(医療的ケア含む)に関する勉強会もは出席しております。	自立支援協議会からのご案内や、事務局がどこになるのかを確認していきます。